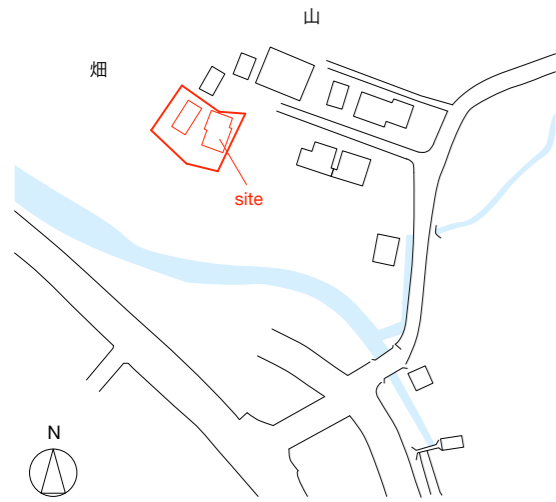


# 盤溪の家

## 敷地概要

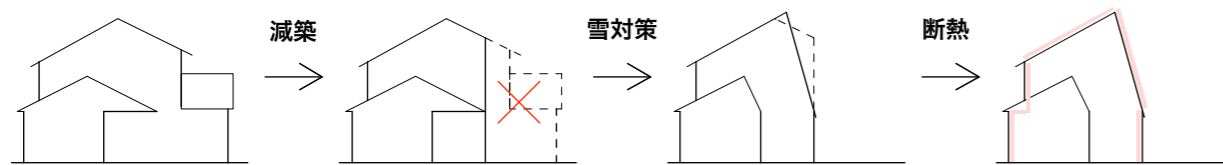
敷地は札幌市中央区の西端に位置する市街化調整区域の集落の一角です。周辺を自然に囲まれた環境である一方で、冬の積雪量は札幌の中でも多いという特徴があります。

敷地に建つ、築50年程度の木造2階建て、モルタル外壁、落雪屋根の、無断熱の当時としては、一般的な住宅の改修を行いました。



## 改修のプロセス

既存は、面積が必要以上に大きかったこと、高气密高断熱にするために、外壁/屋根面積が気積に対して小さくなるように、下屋が大きく出ている部分を減築しました。また、前面道路側の北側屋根の雪がまとまって落ちると危険なため、雪が溜まらない急勾配屋根としました。



## 古いもの新しいもの

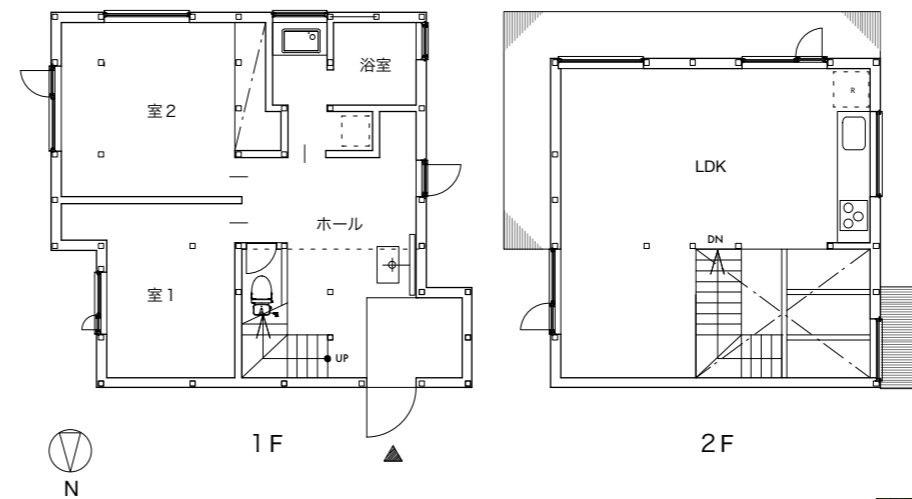
既存の部分を新しいもので覆うのではなく、新しい部分との組み合わせをどう楽しむかを考えました。まず不可断熱を内壁側にとるか、外壁側にとるかですが、内壁は25年程空き家になっていた為、痛みやカビでそのまま使えそうな部分はありません。一方外壁は何の変哲も無い古い塗り壁で、クラックはあるものの、大きな崩れはありません。間取りも既存から全て変更のため間仕切り壁は取り払うので、内側に付加断熱して外壁を活かす事にしました。

## 素材選定

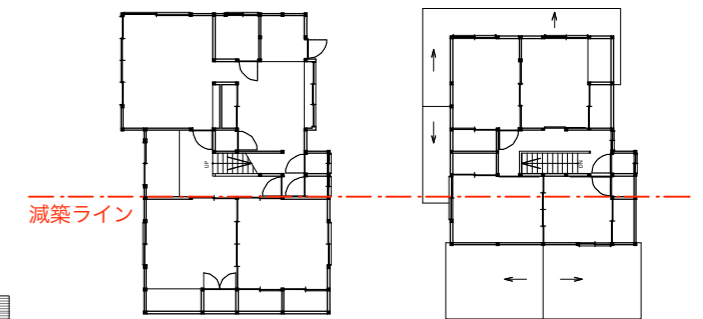
既存外壁の劣化が激しい箇所（大きなひび割れがある）／既存の開口を塞ぐ部分／付加断熱で生じた部分を、あたらしい素材で仕上げることにし、既存モルタルとの取り合いや複雑な形状に対応が可能な左官仕上げ（旭川の土を使った土壁）とすることにしました。

一部、材料の運搬が大変な大きな面と出隅部分を綺麗については道南杉板張りとなりました。

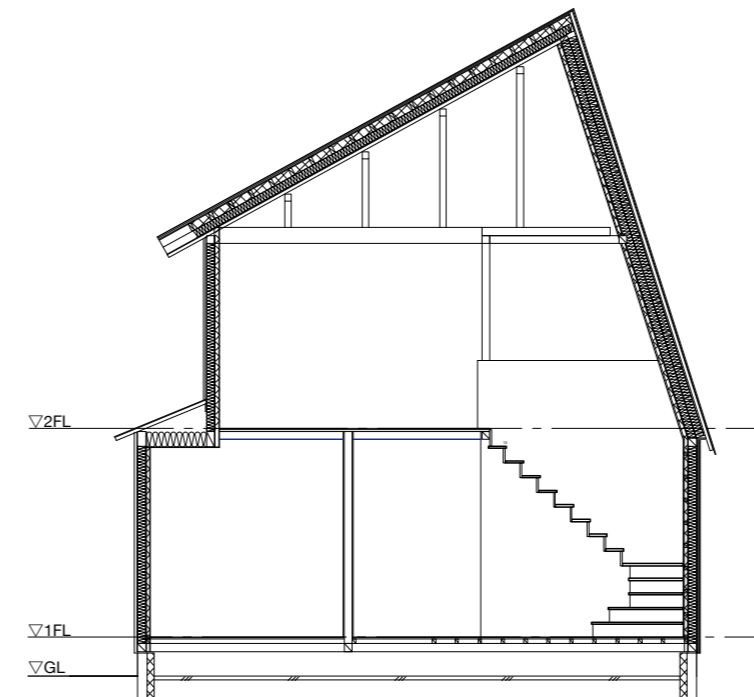
改修後平面図 1/150



改修前平面図 1/300



<b>建築データ</b>	構造：木造
所在地／札幌市中央区盤溪	敷地面積：594.14㎡
主要用途／専用住宅	建築面積：52.17㎡
家族構成／夫婦＋子ども1人	延べ面積：86.23㎡ (1F52.17㎡ 2F34.06㎡)



断面図 S 1/100

